

アナリストレポート

緩やかに持ち直している

しがぎん
経済文化センター
(産業・市場調査部)

県内景気天気図

景気全体



生産活動



個人消費



民間設備投資



住宅投資



公共投資



雇用情勢



凡例

- ☀️ 晴れ
- ☁️ 晴れ一部曇り
- ☁️ 曇り
- ☁️ 曇り一部雨
- 🌧️ 雨

前月比

- 📈 上昇・好転
- 📉 下降・悪化

県内景気の動向

現状 県内製造業の生産活動を鉱工業生産指数で見ると、前月に比べ電気・情報通信機械やプラスチック製品などで上昇したものの、生産用機械や輸送機械、化学などで低下したため、全体では2か月ぶりに低下した。

需要面では、百貨店・スーパー販売額は、身の回り品が2か月連続で減少しているものの、ウエイトの高い飲食料品が2か月ぶりに増加したのをはじめ、衣料品と家庭用品がいずれも2か月ぶりに増加し、家電機器も8か月ぶりに増加したため、全店ベースでは2か月ぶりの増加となった。ドラッグストアが家計の低価格志向の強まりなどから36か月連続で増加しているのをはじめ、家電大型専門店が3か月連続で増加し、ホームセンターも11か月ぶりに増加に転じた。コンビニエンスストアは2か月ぶりの増加となった。これらの結果、小売業6業態計の売上高は2か月ぶりの増加となった。ただし、物価上昇を考慮すると実質個人消費はこのところ弱含みで推移しており、注意が必要である。また、軽乗用車の販売台数は2か月連続かつ僅かながら減少したものの、乗用車の新車登録台数が2か月ぶりに増加したため、3車種合計は2か月ぶりの増加となった。

投資需要では、公共工事の請負金額が3か月ぶりに僅かながら減少したものの、民間設備投資の指標である民間非居住用建築物着工床面積は4か月連続で大幅増加し、新設住宅着工戸数は2か月ぶりに増加した。トラック新車登録台数は2か月連続で減少している。

このような中、雇用情勢をみると、新規求人倍率は前月からほぼ横ばい、有効求人倍率は2か月連続で僅かながら上昇、就業地別の有効求人倍率は3か月ぶりに上昇した。また、常用雇用指数は23か月連続で上昇し、製造業の所定外労働時間指数は

京滋の景気動向

京都府・滋賀県の景気は、緩やかに回復している。

個人消費は、緩やかに持ち直している。観光は、増加している。設備投資は、増加している。住宅投資は、下げ止まっている。公共投資は、高水準で推

2か月ぶりに低下した。これらの状況をまとめると、製造業の生産活動は、生産用機械が大幅上昇した前月の反動で低下したことや、持ち直しの動きが続いていた輸送機械で足踏みがみられたため、全体では2か月ぶりの低下となった。一方、需要面では、物価上昇を考慮した実質個人消費は、このところ弱含みで推移しているものの、小売業6業態計の売上高が2か月ぶりに増加に転じるなど、持ち直しの動きがみられた。投資需要では、公共投資が僅かながら減少したものの、民間設備投資が4か月連続で大幅増加し、住宅投資も2か月ぶりに増加した。したがって、県内景気の現状は、製造業の生産活動などの一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

今後の動向 県内製造業の生産活動については、半導体市況の改善や自動車生産の回復などにより、徐々に持ち直していくとみられる。個人消費については、家計の低価格志向の強まりが懸念されるものの、県内でも実質賃金が僅かながらプラスとなるなど、所得環境に改善の動きがみられることから、徐々に持ち直していくとみられる。また、秋の紅葉シーズンには、大河ドラマ「光る君へ」の放映効果による観光客の増加が見込まれる。投資需要については、人手不足に対応した省力化・省人化投資、脱炭素に向けた環境対応投資など、将来を見据えた投資の増加が期待される。

したがって、今後の県内景気については、緩やかに持ち直していくとみられる。ただし、混迷を深める中東情勢、急激な為替変動、人手不足による供給制約などの下振れリスクに加えて、日本の衆院選や米国の大統領選の結果を受けた経済政策の動向にも注意する必要がある。

移している。こうした中、生産は、緩やかに持ち直している。また、雇用・所得環境は、緩やかに改善している。

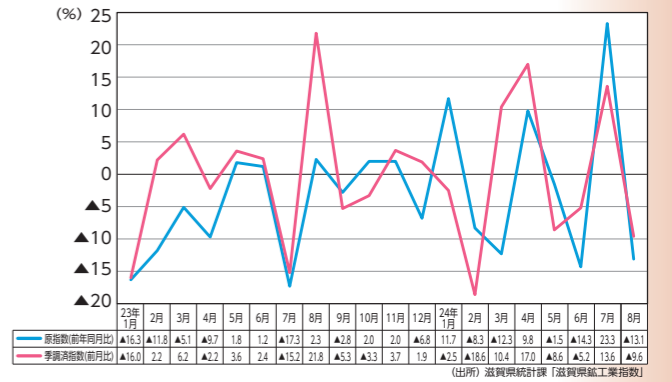
【日本銀行京都支店：「管内金融経済概況」(2024年10月17日発表)より】

「鉱工業生産指数」の前月比は2か月ぶりに低下

- ・鉱工業生産指数(2015年=100)の「原指数」(2024年8月)は87.9、前年同月比▲13.1%となり、2か月ぶりに大幅低下した。「季節調整済指数」(以下、「季調済指数」)も97.4、前月比▲9.6%で、2か月ぶりに低下した。季調済指数の3か月移動平均値(24年8月)は100.0、前月比▲0.8%と、2か月連続の低下となった。
- ・業種別季調済指数の水準が100の基準を上回ったのは、「生産用機械」(189.7)、「化学」(124.1)などで、一方、下回ったのは、「電子部品・デバイス」(41.1)、「金属製品」(56.2)、「窯業・土石製品」(64.4)などとなった。
- ・前月に比べ高ウエイトで上昇した業種は、「電気・情報通信機械」(前月比+9.1%)や「プラスチック製品」(+2.8%)などで、一方、低下したのは、「生産用機械」(同▲34.7%、半導体・フラットパネル

ディスプレイ製造装置)や「輸送機械」(同▲15.3%)、「化学」(同▲11.8%)など。

鉱工業生産指数の推移(滋賀県、2015年=100)



「小売業6業態計売上高」は2か月ぶりに増加するも、実質個人消費はこのところ弱含みで推移

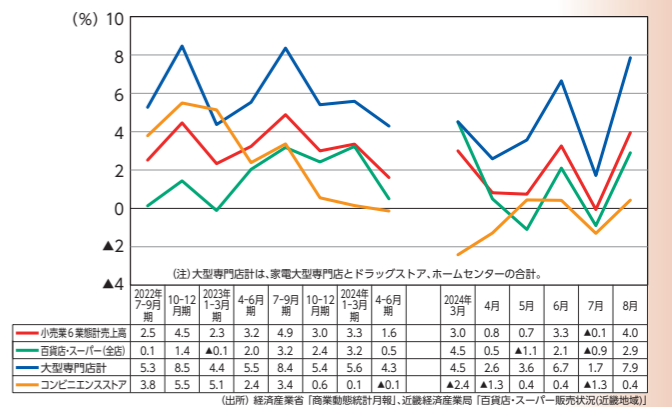
- ・「消費者物価指数(生鮮食品を除く総合/大津市/2020年=100)」(24年9月)は107.0、前年同月比+2.7%、前月比▲0.4%となった。前年同月比は35か月連続で上昇している。このような中でエネルギーは、前年同月比で+9.6%と、8か月連続の上昇となった。また、穀類(前年同月比+15.0%)で上昇率が高くなり、サービス分野では、教養娯楽サービス(同+5.6%)で上昇傾向が続いている。
- ・「名目賃金指数(現金給与総額、事業所規模30人以上、2020年=100)」(8月)は86.8、同+3.3%と7か月連続の上昇、「実質賃金指数」は79.9、同+0.1%で、2か月ぶりに僅かながら上昇に転じた。
- ・「百貨店・スーパー販売額(全店ベース=店舗調整前、対象100店舗)」(8月)は、24.496百万円、同+2.9%と2か月ぶりに増加した。品目別では、「身の回り品」(前年同月比▲3.4%)が2か月ぶりに増加したのをはじめ、「衣料品」(同+1.8%)と「家庭用品」(同+6.0%)がいずれも2か月ぶりに増加し、「家電機器」(同+2.6%)も8か月ぶりの増加となった。「既存店ベース(=店舗調整後)」(同+5.5%)は18か月連続で増加している。
- ・大型専門店(全店ベース=店舗調整前)では、「ドラッグストア」(8月/256店舗、前年同月比+1店舗)が10,078百万円、同+9.4%と、家計の低価格志向の強まりなどから36か月連続で増加しているのをはじめ、「家電大型専門店」(同/42店舗)が3,706百万円、同+8.1%と、3か月連続で増加し、「ホームセンター」(同/68店舗)が3,450百万円、同+3.2%で、11か月ぶりに増加した。また、「コンビニエンスストア」(同/532店舗)は10,776百万円、同+0.4%となり、

2か月ぶりに増加した。

これらの結果、「小売業6業態計売上高」(8月)は52,506百万円、同+4.0%と、2か月ぶりの増加となった。ただし、消費者物価上昇分(帰属家賃を除く総合、8月、前年同月比+3.2%)を考慮すると、実質個人消費はこのところ弱含みで推移している。

「乗用車新車登録台数(登録ナンバー別)」(24年9月)については、「小型乗用車(5、7ナンバー車)」が3か月連続で増加し(1,012台、前年同月比+2.3%)、「普通乗用車(3ナンバー車)」も2か月ぶりに増加したため(2,125台、同+1.2%)、2車種合計では2か月ぶりの増加となった(3,137台、同+1.6%)。一方、「軽乗用車」の販売台数は2か月連続かつ僅かながら減少した(1,956台、同▲0.1%)。これらの結果、3車種の合計は2か月ぶりの増加となった(5,093台、同+0.9%)。

百貨店・スーパー、大型専門店、コンビニエンスストアの小売業6業態別販売額(前年同期(月)比)



「新設住宅着工戸数」は2か月ぶりに増加

- ・「新設住宅着工戸数」(24年9月)は819戸、前年同月比+8.5%となり、2か月ぶりに増加した。
- ・利用関係別では、「持家」は326戸、同▲8.7%で、5か月連続で減少(大津市55戸など)。「貸家」は390戸、同+57.3%で、4か月連続かつ大幅増加(東近江市85戸、大津市63戸、草津市60戸など)となった。「分譲住宅」は102戸、同▲31.5%で、2か月ぶりに大幅減少となり(草津市31戸など)、うち「一戸建て」は102戸で2か月ぶりに減少(前年差▲8戸)、「分譲マンション」は0戸で2か月ぶりに申請がなかった(同▲39戸)。「給与住宅」は1戸。
- ・新設住宅着工の「床面積」(9月)は64,711㎡、前年同月比▲5.0%と、3か月連続で減少した。利用関係別では、「持家」は36,034㎡、同▲11.5%と、5か月連続かつ大幅減少、「貸家」は17,809㎡、同

+46.1%と、2か月ぶりに大幅増加、「分譲住宅」は10,553㎡、同▲30.2%と、2か月ぶりに大幅減少。

新設住宅着工戸数の伸び率の推移(利用関係別)(前年同期(月)比)

